

和の光

宝塚市立西谷中学校



卒業を前に思うこと

校長 筒井 啓介

卒業式までひと月を切り「ついに卒業なんだ」、「15年間共に過ごした仲間との別れが寂しい」とか「高校って中学校とどう違うのかな」など、3年生の皆さんは複雑な気持ちではないでしょうか？

私は、みなさんと出会い、西谷中学校で3年間を共に過ごさせてもらいました。中学生という時期は人生の中で一度しかありません。そして、心も身体も大きく成長する時期でもあります。そのような大切な時期を共に過ごすことができたことを心から嬉しく思っています。

さて、話は変わりますが、私は公立高校の推薦・特色選抜の面接練習時に「先行きの見えない時代を生きて行くうえで必要な力は何ですか」と質問した時に、「コミュニケーション能力です」とか「情報を正しく判断する力です」と、答えてくれた生徒がいます。（覚えていますか？）私は、かなり意地悪な質問をしたのですが、立派な答えに驚きました。

義務教育までは社会で生きて行くための基礎的な力や学びの基礎を身に付けてきましたが、高等学校ではこれらを基にしてより深い学びを行うこととなります。そして、高等学校やその先の大学では義務教育時以上に主体性が求められます。（例えば、宿題がなくても自分で復習するのは当然のこと。さらに教科によっては予習もある程度は必要になります。）厳しいように思うかも知れませんが、そのことはしっかりと理解しておいてください。また、中学校とは異なる仲間との出会いもあります。新たな仲間との出会いから学ぶこともたくさんあります。学校行事や部活動でも仲間と共に一喜一憂するなど様々な経験を積み上げていくことでしょう。そして、学んだ知識や経験をもとにして、唯一の答えのない問題に立ち向かっていく力を育てていって欲しいと願っています。なぜなら、その力こそ先行きの見えない時代を生き抜くために必要なものだからです。

最後になりましたが、RADWIMPSの「正解(18FES ver.)」を紹介します。ぜひ、歌詞をゆっくりと読んでみてください。



省略



省略

■写真で振り返る1年間「ふれあい運動会」



今年度も残り1月ほどとなりました。この1年間、西谷中生は授業や行事、部活動を通してたくさんの経験を積み上げ一人一人が大きく成長しました。西谷中には37人の個性豊かな仲間たちがいます。その一人一人の成長の様子を写真で紹介します。

今回は「ふれあい運動会」の様子です。園児・小学生・中学生が笑顔一杯に躍動感あふれる演技をたくさん披露しました。また、生徒会が企画した綱引きや借り物競争には保護者・地域の方々も参加して盛り上がりました。地域とつくる「ふれあい運動会」は西谷中の誇れる行事です。